

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2026年6月14日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



「醍醐コミバスをまもろう！」コミバス署名報告集会



5月30日にダイゴロー第一・第二会議室で、署名の第1回提出の報告集会が開かれ私も参加しました。準備した資料がほぼなくなる多くの参加者で成功しました。最初に代表から署名に協力していただいた町内会や医院、保育園などの状況や、議会の全ての会派に働きかけたことなどの報告がされました。その後、陳情の審査をしたまちづくり委員会副委員長のやまね智史議員から、委員会の様子がわかりやすく報告されました。「陳情者の趣旨説明の申請に対して、理由を一切言わずに必要なしとの判断をした共産党以外の議員に、怒り心頭」と報告がありました。顔の知らない方や初めての方も参加され、途切れることなく会場からの発言が続きました。「5月の連休は買いだめした冷凍食品で過ごした」「敬老乗車証が3倍の負担になったのに、その収入は京都市にまきあげられたのですか?」「醍醐コミバスは市バスが無くなって、開始には多くの方の苦労があった。他人任せではなく、みんなで力を合わせ、参加型で守っていくべき」などなど、様々な角度からの発言が活発に交わされました。私からは「敬老・福祉乗車証の補助金の計算の仕方が、回数券の単価や月12回利用等、見直しが必要だ」と説明をしました。会場には「コミュニティバス市民の会」の理事も参加をされ、発言がありました。住民みんなでコミバスを守り発展させる意気込みがあふれる報告会でした。

議員日誌

酷暑から市民のいのちを守るための緊急申し入れ

京都市では既に5月から真夏日が記録され、気象庁の予報では、近畿地方でも平年よりも気温の高い状態が9月中旬まで続く見通しといわれています。生活保護利用世帯や年金生活者、子育て中の生活困窮世帯などでは、生命を脅かす危険な暑さの中でも、「電気代が心配でエアコンはつけない」「エアコンが壊れても買い替えができない」という声が寄せられています。エアコンをつけずに亡くなれる事案も起こっています。

市民の生命を守るための実効性ある対策が急務です。自治体独自で夏季限定で水道料等の減免やエアコン設置・修理への助成などの実施をしているところもあります。東京都では「低所得世帯向けエアコン設置市区

町村等緊急支援事業」「4か月間水道基本料金無料」を実施しています。共産党市会議員団は、エアコンが設置されていない、もしくはエアコンが故障している生活保護利用世帯についてエアコン設置・修理等の費用を助成することや、水道料金・下水道使用料を減免することなどを市長に申し入れをしました。



伏見 JCP サポーターズフェスタ

5月24日に大手筋商店街の一角をお借りして、JCPサポーターズ（日本共産党の応援団）のフェスタが行われました。

NAZUKIさんというご夫婦のデュオは素敵な歌声の中に笑いがあり、雰囲気が盛り上がりました。堀川明子前衆議院議員も参加をされ、来年の統一地方選挙の予定候補者の紹介では、議会の質問動画や委員会での与党議員の様子などが動画で流され、共産党議員の役割の大事さがよくわかりました。若い方々の企画は案内チラシも含めて、素晴らしいと感動しました。1回で終わるのではなく、継続的な企画にして、共産党をアピールしなければと思います。